

最終想定：広域おでかけタクシーへの移行（ごんくる亀崎・有脇線の廃止）

- ▶ 広域おでかけタクシーとの「利用者の奪い合い」を避け、かつ不調路線の亀有線を整理することで、地域全体の公共交通環境の運用面・費用面での最適化を目指します
- ▶ 広域おでかけタクシーが亀崎・乙川地域の新たな交通モードになり得るかを見定めるため、試験期間中は亀有線と広域おでかけタクシーを併存させます ※試験期間は半年間を想定

亀崎・有脇線の現状

- ▶ 2018年の導入以降、他のごんくるバスと比較して常に低調
- ▶ 住民アンケート等に基づいた路線改善を2020年に実施するも改善が見られない
- ▶ 1人あたりの投資額が比較的高いはずのおでかけタクシーを大きく上回る投資額という、極めて低い財源効率性

令和元年度～令和7年度上半期の一人あたり行政負担額

項目 年度	支出 種別	利用者1人あたりの行政負担率(支出決算額/利用者数) 円/人						
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7上半期
半田・常滑線	補助金	11.7	19.8	28.4	16.1	30.8	49.9	37.6
半田北部線		198.0	338.7	344.5	277.6	315.9	291.8	292.1
亀崎・有脇線		1,881.8	1,926.0	2,039.1	1,475.2	1,781.7	1,987.4	2,110.4
半田中央線	業務委託	632.7	620.7	618.6	499.4	644.1	659.6	797.6
青山・成岩線		661.6	731.6	697.1	550.5	689.5	706.7	694.0
岩滑小線			1,584.0	1,147.7	893.3	747.6	710.2	682.0
瑞穂線				2,093.0	1,436.6	1,263.5	525.5	321.2
成岩東部線				1,534.1	963.4	721.2	632.9	1,119.1
知多半島総合医療センター線								650.9
有脇おでかけタクシー	運賃 差額 支払				931.4	1,079.6	968.8	992.2
横川おでかけタクシー						925.5	928.7	950.0
板山おでかけタクシー							1,217.2	1,133.1
医療センター直行タクシー								1,602.4

※R7年度は上半期実績。（年度末に精算する券面額収入は計算に含めず）  
注）「ごんくる3線」及び「地区路線B（岩滑小・瑞穂・成岩東部線）のR5年度以降」については、支出決算額は3線の合計値となるが、一人当たりの市負担額の概算のため等分した数値で計算。

↑最新の実績で見ると、おでかけタクシーが1,000円前後、他のバス路線が700円前後（好成績の瑞穂線を除く）であるのに対し、亀有線は2,000円を超えており、これは廃線危機にあった、路線改善前の瑞穂線を上回る

亀崎・有脇線廃止による利用者への負の影響

- ▶ 約6時間の時間的な交通空白が新たに発生  
亀有線運行時間・・・およそ6時30分から19時（13時間）  
広域おでかけタクシー運行時間・・・9時から16時（7時間）
- ▶ 市民以外にとっての交通空白が新たに発生  
広域おでかけタクシーは市民限定サービス  
➡亀有線を利用していた市民以外にとっては、利用できる公共交通の実質的消滅

本来課題の解決をめざして

- ▶ 乙川・亀崎地域の交通空白地域の解消
- ▶ 亀崎・有脇線の路線改善  
試験期間をとおして、広域おでかけタクシーが上記の本来課題の解決に資すると見込まれる場合、  
2026年6月の公共交通会議でごんくる亀崎・有脇線の廃線に係る協議を上程します。